

かんそう	たいよう	せいめい	きゅうしゅう	うつくしい
だいず	しょくぶつ	たいいくかん	きえる	ぶんか
むかしばなし	たはた	たいじゅう	はないき	ゆだねる
がつきゅう	しょうわ	のうぎょう	ひにく	さら
ころがる	いしゃ	しあわせ	しま	きたい(する)
うける	ひろう	あくにん	にばい	たにん
でんぱ	うんどう	ようもう	につきちょう	おうきゅう
こうふく	やくしよ	よてい	じんじゃ	まつり
さかみち	ふでばこ	おゆ	は	へいか
じょうしや	おいかける	だいいち	かるい	ほどうきょう

★漢字を書きましよう。

六三年生の漢字まとめ②

(

)

七 三年生の文章問題

★ 文章を読んで答えましょう。

もぐらは、体長が十〜十五センチメートル、体重は百グラムほどの小さな動物です。

そんなモグラが、どうしても、「トンネルほりの名人」と言われているのでしよう。

もぐらがトンネルをほるのは、土の中で生活をするためです。トンネルは四方八方に広がっています。地面から深いところ(一・五〜二メートル)にすを作り、そこで、ねおきをします。ミミズやくもなどのえさをとるのは、地面に近い地下十〜十五センチメートルのところでは、

もぐらの体は、そういうトンネルを掘るのに都合のいい、さつまいものような丸い形をしています。その体を少しかたむけて、シャベルのような手のひらをかわるがわるにつかって、土をほっていきます。

ほった土は、トンネルの上におしつけ、よぶんな土は、後足でけつとばしながら前進します。土のやわらかいところなら、手をつかわないで、がんじょうな鼻先をつかって土をもち上げ、トンネルをほります。

(1) もぐらは何と言われていますか。

(2) もぐらのすとえさをとる場所は、それぞれ、地面からどれくらいの深さですか。

す …………… ()
えさ …………… ()

(3) もぐらの体の形は、何をするのに都合がいいのですか。

(4) もぐらはトンネルをほるとき、体やてのひらをどのようにつかっていますか。

体 …………… ()
てのひら …………… ()

(5) もぐらは、トンネルの中で、土をどのようにして前進しますか。

ほった土 …………… ()
よぶんな土 …………… ()

(6) 土ややわらかいところでは、もぐらは、どうやってトンネルをほりますか。

(7) 上の文章は、もぐらのどんなことをくわしくせつめいしていますか。

(二つに○をつけましょう。)

- () 小さな動物だということ。
- () みみずやくもなどをえさにすること。
- () トンネルほりが上手なこと。